



学校だより



4 月 号

2026年4月7日
横浜市立中村小学校

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakamura/>

『起・承・転・結』 ～ 新たな出会い 夢への一歩 ～



校長 中尾 和世

お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

桜の便りが届いたのがついこの間——。あっという間に満開となり、ピンク色の濃淡がまちに華やぎを添えてくれています。春は、別れと出会いの季節です。3月25日をもって中村小学校を離れることになった職員や子どもたちも、きっと、新天地でそれぞれに自分らしさを発揮していることでしょう。そして、中村小学校も新しい職員を迎え、子どもたちとともに令和8年度がスタートしました。

「起・承・転・結」のまさしく「結」にあたる3月25日の修了式では、子どもたちに次のように伝えました。

「今の姿は今年度のあなたの「結」の姿です。その姿は1年間の成長の証です。そして4月からの「起」の姿でもあります。「結」はまとめ、「起」は次のスタートです。どんな自分になりたいか、一人ひとりしっかり考えてください。4月にまた会いましょう。」

始業式に参加した2年生から6年生の姿からは、進級した喜びとともに新たな目標に向かってがんばろうとする様子を感じ取ることができました。きっと、入学してきた1年生も、上級生の姿を見て学校生活を送り、中村小学校の「仲間」となり、「ともに」成長していくことでしょう。

新しい教室、新しい担任や友達との出会い……。新年度の始まりは、前向きな気持ちにあふれています。新しいことに向き合い、チャレンジしてみたいことが次々と沸きあがってくるのも4月だからこそもしれません。自分が子どもを思い返してみると、いつもの景色がきらきらとまぶしく見え、一つ進級し成長した喜びでいっぱいだったように思います。

一方で、新年度のスタートはいろいろと新しいことばかりで、子どもだけではなく大人も、心がそわそわしたり、緊張したりするものです。誰でも必要以上に気持ちが入ってしまうのが4月なのかもしれません。子どもたちの中には、ランドセルを背負うことにも、靴を履くことにも、玄関からの一歩を踏み出すにも、いつも以上に勇気を振り絞っている子もいるかもしれません。でも、そうした一つ一つのことが、子どもたちにとっては成長の一歩、夢への一歩となるはずです。おうちの方はそんなお子さんの様子を心配しながらも温かく見守り、励ましの言葉をかけて送り出してくださっていることでしょう。職員一同、様々な思いを抱えて登校してくる子どもたちをしっかりと受け止め、中村小学校が子どもたちにとって「安心できる居場所」となれるよう、精一杯取り組んでいく所存です。

また、子どもたちの健やかな成長のためには学校・家庭・地域の連携と協力がとても大切です。これまでと同様、「ともに」子どもたちを温かく見守り、支えていただけましたらありがたく存じます。

引き続き、中村小学校にご支援を賜りますよう、どうぞお願い申し上げます。

